

1 生分解性素材  
で土に還る

ポットを破り  
根が出て最終的に  
CO<sub>2</sub>と水に  
分解されます。



2 バイオマス素材  
を混ぜて  
減プラスチック

3 リサイクル素材  
の使用でエコに

東海化成の考える  
今後のプラスチックの  
あり方とは

# 脱プラスチック!?



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東海化成はSDGsの取り組みに賛同し、「環境を考えたプラスチック製品への取組」を通じて、持続可能な世界を目指すための貢献をしていきたいと考えています。

SDGs (持続可能な開発目標) とは  
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓ったものです。

東海化成は食・花・緑あふれる、より豊かな社会をめざしていきます



株式会社東海化成





# 脱プラスチック!?

東海化成の考える今後のプラスチックのあり方とは

## 世界規模の環境問題



海洋プラスチックごみ



地球温暖化



化石燃料の枯渇

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGs

### 国連の掲げる持続可能な開発目標

エス・ディー・ジーズ(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓ったものです。

## 東海化成の取り組み

自然界で土に還る!

### 1 生分解ポット

微生物の働きにより、水とCO<sub>2</sub>に分解されます。  
苗をポットに入れたまま土に植えられます。



地球を汚さないプラスチックへ

2

減プラスチック!  
バイオマス素材を使用したポット



バイオマス素材

+



従来のプラスチック

=



プラスチック使用量削減!

3

リサイクル率の飛躍的UP!  
今までリサイクル困難だったもので作られたポット



家庭から出たごみ

▶



原料へ

▶



廃棄プラスチック再利用!



## 東海化成は、プラスチックの再発明をします

プラスチックは、あらゆる分野で活躍しており、現代社会においてはなくてはならない素材となっています。安くて丈夫、軽い、割れない、腐らない、水に強い、リサイクルで繰り返し使用できるなど、そのメリットは多方面に及び、さらに新たな機能を持つものが日々開発されています。

しかし、その反面、原料となる石油は有限な資源、プラスチック自体は自然分解しにくく、燃やせば環境に負荷をかけることになり、使用後の処分が非常に困難であるためゴミ問題が深刻となっています。こうした、デメリットに対し、これまで環境に配慮した取り組みとしては、製品の軽量化、再生材の使用、バイオマスの混合などプラスチックの量を減らす活動が中心に行われてきました。

しかし、分解し土などに戻せないことから、プラスチックは世界を汚しつづける結果となりました。

私たち東海化成は SDGs の 12、13、15、17 の意識から新たに考えました。

環境を汚さないプラスチックであるためには・・・

- ① 使用後の処理方法を変える ⇒ 完全リサイクル社会の実現
  - ② 素材を変える ⇒ 生分解性素材の利用
- などが考えられます。



生分解中のポット

そこで今回、私たち東海化成は、生分解性素材を使い  
新たに4種類の生分解性プラスチック商品を作りだしました。

しかし、まだ完成とは言えません。

なぜなら分解は、使われる環境で約3か月から1年と幅があるからです。

地球を汚さないものへとプラスチックを変えていくという私たち東海化成の考え、SDGsの考えに賛同し、テストトライアルにご協力いただける企業を探しております。

ぜひ、テストトライアルにご協力のほど、よろしくお願いします。

